



1964

オリンピック 聖火リレー  
in香川

1964年、第18回東京大会の聖火は、8月にギリシャで太陽光から灯され、9月に沖縄に到着。沖縄を一周してから、鹿児島、宮崎、北海道へ運ばれ、そこから4つのコースで東京へ向かいました。

宮崎→大分→愛媛→高知→徳島とリレーされてきた聖火は、9月20日13時、徳島との県境・引田町で第一走者に引き継がれ、途中、雨にも降られたようですが、35区間805人により無事走破。高松市役所周辺ではパレードや、夕方には聖火を迎える行事も開催。見物人がひしめくこの写真からも、高松の人々の熱狂の様子がうかがえます。聖火は市役所に一泊、翌21日、最終走者によって、フェリー乗り場前で岡山側に引き渡され、本州へ渡りました。

History



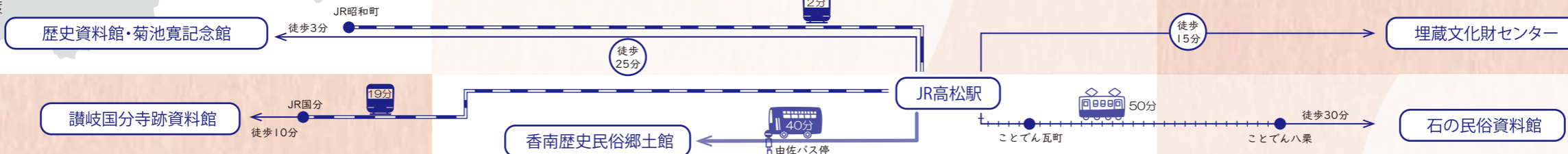
(写真は高松市歴史資料館所蔵)



GOAL

5月2日から6月28日まで「わがわがスポーツにまつわるエッセイ」展を予定。当時の写真、ポスターなどを展示します。ぜひお越しください。

START



# #001 高松市歴史資料館

# #002 菊池寛記念館

# #003 高松市埋蔵文化財センター

## 菊池寛と幻の東京オリンピック

菊池寛がオリンピック委員をしていたこと、御存じですか？オリンピックは1948年の14回大会まで芸術競技（建築、彫刻、絵画、音楽、文学）が行われており、寛は文芸競技を審議するための会議に出席していました。しかし、1940年に開催が決定していた東京オリンピックは、時局の不安定化から、開催地返上となってしまいます。スポーツに関心の高かった寛は、非常に落胆したそうです。水泳にピンポン、野球など、様々なスポーツを嗜んでいた寛の様子を、6月9日～8月30日、コレクション展「近代スポーツと文士（仮）」にて御紹介します。

Literature



水泳姿の寛



ピンポンをする寛



Archaeology

かつて、菊池寛や向田邦子が学んだ歴史ある四番丁小学校を改築した施設です。2階の講座室では、お一人様から御予約OKの鑄造体験を行っています。



ものづくり体験

## スポーツの起源

今日のスポーツと同様のからだの動きや用具は、古くから存在します。例えば、発掘調査で出土する石の矢じりや槍先などの道具を使った昔の人の狩猟は、弓術ややり投げなど現代の競技スポーツの原点と言えるでしょう。市内で出土した石器などを展示し、考古資料から見えるスポーツの起源を探ります。



矢じり



原島の合戦で箭の的を射る源平争い

# #004 讃岐国分寺跡資料館

国分寺とは、741年に聖武天皇が諸国に命じて作らせた、国の文化的・仏教的拠点となる寺院です。敷地を囲う高い塀、瓦葺きの立派な建物。南海道を行き交う人々の注目を集めたことでしょう。そんな姿が偲ばれる、1/10伽藍模型や復元築地塀が、資料館に隣接する史跡公園内にあります。資料館には讃岐国分寺跡出土遺物が展示されています。

National special historic site

## 子どもカ餅大会

毎年11月の讃岐国分寺史跡まつりでは、「子どもカ餅大会」をしています。子どもたちが重い砂袋を持って歩行距離を競います！もともとは旧正月に餅を遠くに運び距離を競う大会で、大正～昭和の頃に国分寺の境内で行われていました。



子どもカ餅大会

石製の伽藍模型

史跡公園の覆屋では僧房の内部を復元しています。

# #005 香南歴史民俗郷土館



Native district

## 「64東京五輪カヌー」 中原監督奮闘す！

中原乾二さんは、1899年香南町吉光に生まれ、由佐尋常小学校を卒業。その後、東京高等師範学校を卒業しました。オリンピックには2度出場し、1936年ベルリン大会ではボート競技の役員、1964年東京大会では日本カヌー競技の監督を務めました。中原監督率いる日本は、東京大会でカヌー競技に初参加。決勝進出には至りませんでしたが、中原さんは「恥かしからざるレースはできた」とふり返っています。日本カヌー競技の第一歩に貢献した中原さんは、1973年73歳で亡くなり、お墓は香南町吉光の楠墓地にあります。



中原 乾二さん



# #006 石の民俗資料館

相撲=スポーツ=神事

石の民俗資料館がある牟礼町の六萬寺では、毎年秋分の日、鎮守である愛宕権現の秋祭りにおいて、「田井の子供神相撲」が奉納されています。これは、小学生が東西の大関・関脇・小結の力士に扮し、古来より伝わる相撲の型を奉納した後、土俵入りするもので、古くは行在所であった六萬寺に逗留した安徳天皇に披露され、千年以上の歴史があると言われています。その継承活動が認められ、1982年には高松市指定無形民俗文化財に、また2017年には日本ユネスコ協会連盟の「プロジェクト未来遺産」に登録されています。



二人で行う相撲の型



ちびっ子タオ相撲大会

Stone maison

